



さくら



題字 足立区長 近藤 やよい
足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会
会長 市村 智
編集 広報委員会
発行日 2023年7月1日
〒120-8510
足立区中央本町1-17-1
TEL 03-3880-5870



後ろから光を当てると模様が出てくる立体作品です

やまぎし あきひろ

「カラフクジラ」平野小 3年 山岸晃大 作

目次

| | |
|----------------|-----|
| 合同会長あいさつ | 1 |
| PR週間・感謝状贈呈式 | 2 |
| 各種表彰受賞者祝賀会 | 3 |
| 子どもたちはいま | 3 |
| LGBT特集 | 4 5 |
| 地域を訪ねて・俳句絵画 | 6 |
| 学校ICT化の現状・PC研修 | 7 |
| 社協 新旧役員あいさつ | 8 |
| ぶらり足立・編集後記 | 8 |

合同会長あいさつ

みなさんのご協力に感謝

第二合同 会長 星野雅夫

昨年12月の一斉改選で最後の一期となりました。私は民生・児童委員として近所の民生委員さんから推薦され、何もわからないまま民生・児童委員になりました。



その頃は第二合同19地区で綾瀬川を挟んでの地区割りのため、会議や研修の時は2か所の福祉事務所から担当の方が来ていました。何かと不便なことが多く、数年後に今の地区割りになりました。

その後、地区会長から合同会長となり特別なこともなく無事にここまでこられたのも、委員の方々の協力と行政の方の指導があったからと感謝申し上げます。

ここ数年はコロナの関係で委員活動も思うようにできませんでしたが、任期いっぱい仲間の委員の協力をいただきながら頑張っていきたいと思います。



近所のおせっかいおばさん

第一合同 会長 小林尚子

第一合同は、北千住駅を中心とした賑やかな商業地域と高層マンション、古くからある住宅が混在した地域です。

この千住地域は、ご近所との距離も近く町会自治会活動も活発です。その中で民生・児童委員は、常に情報をキャッチするアンテナを張って、相談や支援に取り組むこととなります。

活動の根底には疾病や生活に苦しんでいる方々に、真摯な態度で寄り添うまじめさがが必要です。同時にどのような状況でも明るく、楽しく前向きな柔軟さも併せ持たたいものです。

近所のおせっかいおばさんになるのが目標です。



4年ぶりのPR週間事業（令和5年5月8日～13日）

民生・児童委員のメインイベントとも言うべきPR週間事業ですが、コロナ禍の令和2年から4年の3年間は、パネル展示のみや図書館での民生・児童委員PRコーナーの設置、あるいはポスター展示やパンフレット配布など、対面でのイベントは行えませんでした。

令和5年5月8日(月)に庁舎アトリウムの一 corner で、社会福祉協議会幹部職員にお越しいただいての開会式から始まり、4年ぶりに委員と来庁者が対面で『パネル展示・相談コーナー』の2つの事業が行われました。

パネルは民生・児童委員カラーの緑を基調に統一感のある見やすい展示となっていました。

相談コーナーを訪れる方もいらっしやっ、お困り事に対応窓口につなげたり、傾聴させて頂いたりしただけですっきり笑顔になって帰られる方もいらっしやいました。

(6地区 会長 田中礼子 記)

パネル展示と相談コーナーで活動をPR



パネル前で相談も

展示パネル* →

民生委員ってなに？

民生委員・児童委員は地域の皆様のパートナーです

皆さんの身近な相談相手として、民生委員・児童委員が活動しています。

普段の生活の中で、**福祉や子ども**に関連してお困りのことがありましたら、遠慮なくお近くの民生委員・児童委員にお声をかけてください。

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受けた特別職の地方公務員であり、**守秘義務があります**ので安心して ご相談ください。

お近くの民生委員・児童委員が分からない時には福祉管理課民生係にお尋ねください。必要に応じて担当の民生委員・児童委員を紹介します。



足立区民生・児童委員協議会
会長 市村 智

まずはお問い合わせください

TEL : 03-3880-5870

足立区 福祉管理課 民生係

* 展示パネルの詳細は区のホームページをご覧ください。



ミンジーも登場



実行委員の皆さん



退任民生・児童委員 感謝状贈呈式

令和4年12月1日の改選に伴い退任される民生・児童委員の方々への感謝状贈呈式が、令和5年1月25日竹の塚地域学習センター4階ホールでとり行われました。

近藤やよい区長より、各地区合同代表者に感謝状が各々贈呈され、区長あいさつの中で退任者の長期にわたる地道な活動に対し、労いの言葉を頂きました。

また、来賓の足立区議会工藤哲也議長や民生・児童委員協議会市村智会長あいさつ、列席者の略式紹介とあいさつを受け、記念撮影を経て式は終了しました。

退任民生・児童委員の皆様大変お疲れ様でした。

(7地区 鶴岡一郎 記)



ありがとうございました



感謝状贈呈式の様子



令和4年度 各種表彰受賞者祝賀会(受賞者106人)

足立区民生・児童委員協議会主催による令和4年度各種表彰受賞者祝賀会が去る令和5年2月14日に開催されました。当初の予定では浅草ビューホテルを祝賀会場としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、竹の塚地域学習センターに変更して宴席を設けず実施されました。

祝賀会は和やかな中にも厳かに進行され、市村智民生・児童委員協議会会長の主催者あいさつの後、来賓として近藤やよい区長ほか足立区議会を代表として工藤哲也議長、足立区社会福祉協議会小久保隆会長のごあいさつをいただきました。

来賓それぞれの立場から、民生・児童委員としてのこれまでの献身的な活動に対し、感謝と御礼の言葉がありました。区長からは、元協議会会長の亡き中田貢弘会長がお話された最澄の「一隅を照らす…」の言葉から民生・児童委員の活動や役割についてのお話もありまし

た。来賓・主催者紹介の後、表彰受賞者(受賞者は前号に記載)の紹介と区長との記念撮影がありました。続いて当協議会から足立区への寄付贈呈、地区会長・委員長の紹介の後、祝賀会は滞りなく終了しました。今回106人の方が受賞の栄に浴し、改めて民生・児童委員の役割を振り返る機会にもなりました。

(8地区 会長 葉本喜信 記)



信条朗読で始まりました

シリーズ「子どもたちはいま」

自分と他者の魅力を知る～扇中学校の授業～

小中一貫教育校の足立区立扇中学校では、7年生(中学1年生)を対象に、国際コミュニケーション科の授業の中で「言葉と音で勇気づけ」という授業(全6回)を行いました。授業では、毎回外部講師として心理セラピストの原田綾子さん(株式会社Hearty Smile代表)とパーカッション・和太鼓奏者の赤羽拓真さん(AKANE MUSIC合同会社代表)をお呼びしました。

前半で自己理解「自分と仲良くしている?」「自分の魅力を知っている?」、後半で他者理解「勇気づけのコミュニケーション(聴き方、話し方)」を学びました。自分の可能性を信頼することができたら、どんなことにもチャレンジができ困難さえも味方につけて夢を叶えていける。そんな生徒が増えたらとてもすてきな社会が築けるのではないかという思いで本校に導入いたしました。

授業では、毎回リラックスをしながら話が聞けるようピアノや打楽器の生演奏から始まり、講師のユーモア溢れる話、そして毎回の内容に合わせたグループワークを行いました。リラックス状態から本題に入っていくこと

により、聴く姿勢が自然と整い、生徒の最高のパフォーマンスを引き出すよう構成されています。

生徒は1年間(令和4年度)この授業を受けて、「自分を信頼すると自分に自信がもてる」「自分のいいところと他人のいいところを見つけられるようになった」など、自分と向き合う方法をスキルとして身に付けることに嬉しさを感じながら学校生活を楽しんでいます。

(扇中学校7学年 学年主任 梶間真穂 記)



授業の様子



「違っていい」を認め合う社会に

—LGBTを知る—

近年「LGBT」という単語を、目や耳にすることが増えたと感じることはありませんか。

Lはレズビアン（女性同性愛者）、Gはゲイ（男性同性愛者）、Bはバイセクシュアル（両性愛者）、Tはトランスジェンダー（心と出生時の性別が一致しない人）のアルファベットの頭文字を取った言葉で、

「性的少数者の総称」として用いられることもあり、足立区もそのように用いています。

LGBT以外にも「自身の性を男女いずれかに限定しない人」「他者に恋愛的に興味関心を抱かない人」など人それぞれにさまざまです。

これが「性の多様性」なのです。

性の4つの要素

性のあり方は、単純に「男性・女性」だけではなく、4つの要素に分けて考えることができます。これらは自分で自由に選べるものではない、自然なあり方です。

からだの性

生まれたとき
に判定された

こころの性 (性自認)

自分が認識する
本来の性

好きになる性 (性的指向)

どのような性別
を好きになるか

表現する性 (性表現)

髪型や服装など
をどう表現して
いるか

【家庭で】

カミングアウト（自分から打ち明けること）をしたところ、家庭の中で自分の存在を無視された。

【学校で】

性的指向について、教員や同級生が「おかしいもの」として話したり、「うちの学校にはいない」と言われたりしても何も言えなかった。

【職場で】

トランスジェンダーであることを内定先の会社に伝えたら、内定を取り消された。

あなた
のそば
にも
傷
つ
い
て
い
る
人
が
…

【医療で】

同性パートナーが入院したが、家族と認められず病室での付き添いや看護を認められず、治療内容の説明も受けられなかった。

【地域で】

子どもが性自認や性的指向の困難を嘲笑され、家族全体が、居住している地域から孤立してしまった。

【不動産で】

同性パートナーと二人の名義で部屋を借りようとしたところ、家族・夫婦向けの物件は借りられず、ルームシェアが可能な物件にしか入居できなかった。



民生・児童委員として寄り添うために

ちょっとした気配りや思いやりが、LGBT当事者や周囲の人たちの気持ちを支えます。

♥ 日頃から否定的な態度・言動を避ける

LGBT当事者は人口の3～10%といわれています。「身近に当事者の方がいる」前提で意識し、配慮をしましょう。

♥ 絶対に、勝手に他人に言わない

民生・児童委員活動で知り得た情報には守秘義務があるのはもちろんですが、活動を行う際に他者の協力が必要と感じた場合でも、本人の了解なしには絶対に口外してはいけません。

♥ 打ち明けてくれて、ありがとう

民生・児童委員が地域の方などからカミングアウトを受けることもあります。相手の信頼を受け止めて、今までどおりの関係を。

♥ 判断できない場合は区の相談窓口

知識や経験がなく対応に困った場合は、区のLGBT相談窓口を活用しましょう。当事者だけでなく、家族や支援する人も利用できます。

足立区のパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度

戸籍上の性別にとらわれずお互いを人生のパートナーとして、生活を共にすると約束した二人が「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓」した届出を区が受領し、受領証明書及びカードを交付する制度です。また、宣誓者の子や親もファミリーとして併せて宣誓できます。

*この受領証明書等は、提示等により法律上の権利・義務を付与する効果を生じさせるものではありません。

あだちLGBT相談窓口

面談・電話で1相談につき50分。事前予約制。

●相談日時

原則 第1月曜日 午後5時～午後8時
原則 第3土曜日 午後2時～午後5時

●予約方法

電話で予約 電話 03-3880-5222
(月～金 午前9時～午後5時)

ホームページで予約

*詳細は区のホームページをご覧ください。



文責 足立区多様性社会推進課 前事業調整担当係長 三堀修

自主研修「LGBTを知ろう」に参加して

「性」とは女性・男性だけでなく、からだの性・心の性・好きになる性・表現する性がグラデーションのように組み合わさっていて、自分で変えたり選んだりできないといわれていることを知りました。

30人集まれば1人はLGBT当事者でもおかしくないとの調査結果もあり、中傷などから死を考えると苦しんでいる方々もいるそうです。マイノリティー（少数派）というだけで差別してはならないし、たとえ受け入れられなくても個性として尊重されなければならないということです。

知らないことで、差別にすら気づかず、無意識のうちに誰かを傷つけているかもしれません。正しい知識をもつことの大切さをこの研修で再認識しました。

(花畑地区 眞野賢枝 記)

人権講座LGBTQの「当事者と家族のSTORY」を受講して

講師の「NPO法人ハートをつなごう学校」副代表理事の小林りょう子さんは、長女が22歳の時、「女の着ぐるみ脱ぎます」とカミングアウトされたそうです。「自分は何者なのか」と子どもの頃から悩み、やっとの思いで親に打ち明けた長女。

小林さんは驚きながらも「わかった」と答えました。この「わかった」は、あなたが幸せになることが大切で、親は子どもの幸せを願っているという意味です。

たまたま小林さんには、セクシュアル・マイノリティの知識がありました。けれど、カミングアウトされた多くの家族は戸惑い、孤立感から自らを責めたり、当事者を責めたりしがちです。カミングアウトは信頼されているからこそその行動で、拒否しないことが大切。家族にも当事者にも、正しい知識と仲間が必要です。「マイノリティ(LGBTQ)を認める」ではなく、「自分も含めた性の多様性を尊重し合う」ことが重要との言葉が印象に残りました。

(8地区 吉澤はる江 記)



シリーズ「地域を訪ねて」

新しい八幡神社とこれから

鹿浜押部町会は、約1,200世帯で10か所の部を設けており、近隣町会と比べても規模も地域も大きな町会です。

私が子供の頃、4メートルの盛土を裸足で駆け上がり蟬取りをした八幡神社は町会と共に歩み、長きに渡り地域を見守ってくれています。令和4年、氏子約20世帯を中心に話し合いを重ね、新社殿へと生まれ変わりました。八幡神社に行けば大木に風が吹き抜けサワサワと葉を揺らし、「よく来たね」と迎えてくれます。地域の方々が日常的に感じている存在です。

新しい社殿と共に町会運営も時代のニーズに軸足を移す、新たなフェーズに入ろうとしています。防犯対策として、防犯カメラの設置台数を増やす活動をしています。また、AEDを将来的に10か所設置し、ネットワーク化も視野に入れております。超高齢化に伴い、民生委員との連携が益々必要とされていくこともフェーズ移

行に欠かせません。

社殿と共に人と人の繋がりを持ち続けている鹿浜押部町会は、新しい風に乗って新たな取り組みへと力強く向いています。住まう方々が安心して安全に笑顔で暮らせる地域社会、そこには八幡神社が欠かせない存在であることは、今もこれからも変わりません。

(鹿浜押部町会 会長 小宮功 記)



八幡神社 氏子のみなさん

中学生俳句コーナー

足立区立蒲原中学校

空見上げ落ち葉が宙に舞っている

一年 和田朋佳 わだ ともか

ハイキング落葉ふみ登る駒見山

一年 加藤 凜 かとう りん

寒い日も手慣れた姿農家の背

一年 横塚珠良 よこづか じゅり

紅葉は山肌覆う着物かな

一年 中田こはる なかた こはる

冬の蝇手をすり合わせ暖をとる

一年 渡邊寿々 わたなべ すず

魚沼市次元の違う米の味

一年 武士政伸 たけし まさのぶ

夜寒くふとんの中も重ね着だ

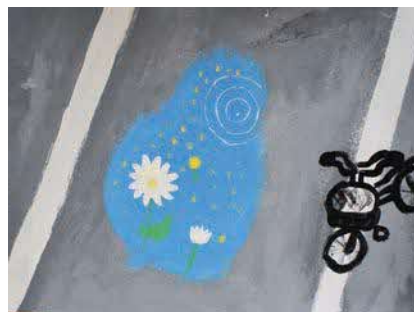
一年 原舞美 はら まいみ

小学生絵画コーナー



「青い空と海」

いしなべ れいさ
栗島小 5年 石鍋伶紗 作



「水たまりの中の花」

くらばやし ももこ
東栗原小 4年 倉林桃子 作



「世界に一つしかない未来の花」

なりた たまき
加平小 4年 成田環 作



誰もが能力を開花できる環境づくりを 「区内小中学校のICT化の現状」を受講して



2022年11月14日主任児童委員会開催、平素の活動でかかわりが深い小中学校における「ICT化」の現状について、教育委員会ICT推進担当課の西野統括指導主事の講演を受けました。

ICTとは日本語で「情報通信技術」と訳され、タブレットなどを使って体育の動きを動画撮影、ほかの学校の友だちとの交流、苦手な勉強の振り返り、植物の生長を撮影、外国人にインタビューなど、今の小中学生は、通信機器を通して広範な教育を受ける機会に恵まれているとの印象を受けました。

これまでの教育実践の蓄積に一人一台端末を配備することで、主体的・対話的な深い学びの視点が生まれている現状を理解しました。特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人残すことなく、能力を確実に育成できる環境を実現している現状を、改めて理解させていただきました。

「時間と距離を縮めるのがICTの強み」。このことは表現を変えれば、場所を選ばず指導が可能であり、学習指導のみならず生活指導への活用発展も可能です。

す。我々が個別相談を受ける機会の多い「不登校問題」「虐待対策」「生活環境改善」等にICT化が果たせることもあるのではないかと感想を持ちました。

主任児童委員は「足立区の児童福祉の底辺を支える」をテーマに置き、児童委員のみなさまとともに今後も活動します。情報をいただきながら、ともに足立区における児童福祉の向上に貢献できれば幸いです。

(前・主任児童委員 小宮謙治 記)



保健体育の研究授業。タブレットで自分の考えを回答
(足立区立第一中学校、2023年校長 ブログより)

モバイルPC操作研修会

東京都から民生・児童委員活動に役立てるため、配付されたモバイルパソコンの研修会が開催されました。私が



研修の様子

参加した会場には足立区のほか近隣地区からの民生・児童委員が集まり、みなさん真剣な面持ちでパソコンに向かっていました。

研修はマニュアル本のページに沿って説明が進みました。「ノートパソコンを開くと起動する」「パスワードとメールアドレスを確認」

「Wi-Fiがないとインターネットは利用できない」「Googleを利用するには」など基本的な事柄ですが、初心者の中にはかなり高いハードルでした。

講師の方が「毎日パソコンを開いて、練習してみてください」とおっしゃられたので、私も毎日開きましたが、悲しいかなよくわかりません。どこをどうしたらいいのか、どこを検索したらいいのか、家族に聞いたりしながら少しずつわかるようになってきました。このレポートも音声入力で作成できることがわかり、キーボードを使わなくても文章を作成することができ、不慣れな私にはとても助かりました。

苦手意識がありましたが、少し楽しくなってきました。きっとみなさんも悩みながらパソコンと向き合っていると思います。一緒にがんばりましょう！

(11地区 吉井記代 記)

○皆様の原稿を募集いたします(原稿は未発表のものに限ります)。原稿に関しては紙面の都合がございますので事前に地区広報委員にご相談ください。

○次号発行予定日 令和5年11月1日

○「さくら」掲載の小学生の絵画、中学生の俳句・短歌は、第一合同から第七合同の小・中学校に順番にお願いしています。

○過去の「さくら」はこちらから見られます→





社会福祉協議会 新旧役員あいさつ



常務理事
久米 浩一

お久しぶりでございます。

18年前に民生係長となり、中田貢弘元会長のもと皆様と沢山の日々を過ごしてきたことが昨日のこのように思い起こされます。

全員研修会の拡大開催、全員食事会、各種表彰受賞者祝賀会、広報紙「さくら」の発行、OB会の発足、災害時要支援者の確認作業等、中田元会長のご指示のもと次から次へと動き回っていました。そのために委員の皆様から沢山の負担と時間をいただき、上記事業が成立できたことをこの場を借りまして改めて感謝いたします。

これからも新しい課題が続くと思います。

皆様とともに立ち向かっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



前常務理事
吉田 厚子

社会福祉協議会では1年間という短い期間ではございましたが、お世話になり大変ありがとうございました。

公務員として42年間、退職を迎える最後の年を小久保会長、市村会長、民生・児童委員の皆様と有意義かつ楽しく仕事をさせていただきましたこと、感謝しております。

今年度は民生・児童委員の皆様方、そして社協も再始動となる中でお役にたてないことが心苦しくもありますが、地域を支える皆様から学ばせていただいたことを人生の師として日々励んでいきたいと思っております。

今後とも足立区の発展と皆様方のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。

本当にありがとうございました。

シリーズ「ぶらり足立」都立舎人公園 冒険の丘

舎人公園は、緑と水に恵まれた都立公園です。起源は、1940年に都市計画が決定された大緑地で、1981年の開園以降も順次整備が進められ、2021年6月には、6歳から12歳の子どもの対象とした遊具エリア「冒険の丘」が完成しました。

このエリアの中では、登ったり、滑ったり、くぐったりと身体を動かしながら、冒険気分を楽しむことができます。まさに子どもの心と身体の健全な成長を促してくれる夢の広場です。その他にソリゲレンデやじゃぶじゃぶ池など、家族で一日中過ごせる環境が整えられています。

休日ともなると、日暮里・舎人ライナーや車を利用して遠方より訪れる親子連れが多く、子どもたちの大きな笑い声が聞こえてきます。そんな様子を見ているだけで、こちらも幸せな気分になれます。若いママやパパも、ここに来

たら、スマホをカバンにしまい、子どもと一緒に体を動かしてみてください。

最後に子育てを終えたおじさんから一言。子どもと遊べる時間は、一生のうちでは短いものです。この公園に来たら子どもの顔を見て、そのひと時を大切に過ごしてください。
(15地区 向山義一 記)



都立舎人公園 冒険の丘 円筒埴輪の塔

編集後記

私たち広報委員には、強い味方があります。前任の益塚委員長をはじめ役員の方々によって作成された「広報委員会運営マニュアル」です。このマニュアルを指針として、「さくら」の編集作業にあたっています。また、広報委員会

の「ICT化？」の手始めとも言うべきLINEなども活用し、連絡を密にしています。読みやすい「さくら」を目指し、広報委員一人ひとりが力を出し合い、「ONE TEAM」で臨んでいきたいと思っております。
(8地区 吉澤はる江 記)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|----------------|----------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 広報委員会 | 委員長 鶴岡 一郎 | 副委員長 吉田 祐一 | 編集長 杉本 和子 | 副編集長 吉澤はる江 | 編集委員 山崎 雅明 | 副編集委員 吉澤はる江 | 副編集委員 山崎 雅明 | 副編集委員 宇田川 克毅 | 副編集委員 木村 忍 | 副編集委員 小宮 義一 | 副編集委員 向山 哲 | 副編集委員 林野 賢 | 副編集委員 眞野 賢 | 副編集委員 富澤 久男 | 副編集委員 富田 英紀 | 副編集委員 副編集委員 神野 松枝 | 副編集委員 副編集委員 芦田 利恵 | 副編集委員 副編集委員 倉持 悦弘 | 副編集委員 副編集委員 藤本 正幸 | 副編集委員 副編集委員 西岡 幸美 | 副編集委員 副編集委員 赤岩 幸美 | 副編集委員 副編集委員 鈴木 政博 | 副編集委員 副編集委員 鈴木 政博 | 副編集委員 副編集委員 中村 知代 | 副編集委員 副編集委員 永塚 知代 | 副編集委員 副編集委員 宮澤 力子 | 副編集委員 副編集委員 宮澤 力子 |
|-------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|----------------|----------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|